

## サギソウ ラン科

*Pecteilis radiata* (Thunb.) Raf.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：準絶滅危惧(NT)



岩美町 2009.8.16／撮影：坂田成孝

■**選定理由**：県内には自生に適した湿地が少ないうえに、自生地環境条件も悪化している。個体数が少なく、園芸目的の採取圧がある。

■**特徴**：山地の日当たりのよい湿地に生育する多年生のラン科草本。減少が著しく、県内西部では絶滅した。地下に走出枝を伸ばして球茎をつくる。茎は直立、15–40 cm。葉は互生、花期は7–8月。純白。幅の広い唇弁をもち、縁が糸状に裂ける独特の形で人気が高い。距は長く3 cmにも達する。自生地では、以前から個体数が少なくいつ絶滅してもおかしくない。サギソウは栽培品が多く、玄関先に鉢植えを見ることも多い。

■**分布** 県内：岩美町，鳥取市国府町。県外：本州（東北以南），四国，九州。

■**保護上の留意点**：自生地の急激な環境変化を避ける。自生地の湿原の植生管理。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：71.

執筆者：永松 大